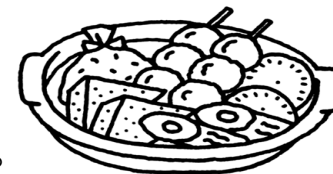


園庭のもみじも少しずつ赤く染まり、日に日に秋の深まりを感じる季節になりました。遊びの中で子ども達は「一緒に遊ぼう」と声を掛け、誘い合う姿も見られるようになり、ままごとなどのごっこ遊びをしたり、保育士や友だちと一緒にむっくりくまさんやケンケンパなど簡単な集団遊びを楽しんでいます。また、最近では三輪車にも乗り、まだまだ前に進むのは難しく足で地面を蹴って進んで行く子も、「こげない」と言いながら何度もペダルを踏み込もうとする子の姿も見られます。これから少しずつ寒くなってきますが、寒さに負けず身体を動かし元気に過ごしていきたいと思います。



《おねがい》

気温差が大きくなり、鼻水や咳が出ている子が増えてきました。食欲や便の状態など体調面で気になる事がありましたら、なるべく登園時にお知らせ下さい。



生活	<p>《ねらい》 簡単な身の回りの事を自分でしようとする</p> <p>【食事】 三角食べをする、よく噛んで食べる</p> <p>【排泄】 尿意、便意を感じると保育者に伝え、トイレで排泄する</p> <p>【睡眠】 自ら布団に入り、保育者に身体をさすってもらったり、見守られながら安心して眠る</p> <p>【着脱】 脱いだ衣服を自分でたたもうとする 園児服のボタンの掛け外しを自分でしようとする</p>
遊び	<p>《ねらい》 秋の自然にふれて遊ぶ</p> <p>【戸外遊び】 追いかっこ、ひっこし鬼、もの鬼、むっくりくまさん、鉄棒、ぶら下がり、足掛け回り、ボール遊び、散歩、ジャンプ、タイヤ遊び、落ち葉やどんぐり拾い</p> <p>【室内遊び】 モザイクパズル、ビーズひも通し、積み木、折り紙、木製パズル、ままごとコーナー、ハサミで紙を切る</p>

《生活の手を育てたい》

洗濯バサミをつまんだり、ひも通しをしたり、人形の着替えをしたりと指先を巧みに使って遊べるようになってきました。生活の中でも園児服のボタンの掛け外しや通園バックのスナップをしたり、蛇口をひねったりみかんの皮をむくなど、手指の操作性を高めるチャンスがあふれています。つい大人がやってあげてしまったり、すぐに手を貸してしまいがちですが、子ども自身ができるように手助けをしてチャンスをたくさん作っていききたいですね！

